

乙訓圏域障がい者自立支援協議会  
令和5年度 第2回人材確保・育成部会 会議録

日時 令和5年8月30日(水) 10:00~11:50

場所 乙訓保健所 講堂

出席者 11名

向日市社協障がい者地域生活支援センター、こらぼねっと相談支援センター、向陵会、障がい福祉センターあらぐさ、障害者支援施設晨光苑、乙訓の里、長岡京市商工会、乙訓保健所福祉課、向日市障がい者支援課(1名)、長岡京市障がい福祉課、大山崎町福祉課

欠席者 1名

向日市障がい者支援課(1名)

事務局 3名

傍聴者 2名

配布資料 ・次第

- ・令和4年度 チラシ(人材確保・更新前)
- ・令和5年度 チラシ(人材確保・更新後)
- ・令和5年度 乙訓圏域新任職員連続講座チラシ
- ・人材育成に携わる圏域法人職員の交流会(案)

## 会議概要

### 1 チラシの更新、見学体験計画の更新について

部会長 ・ワーキングチームによって、新しいチラシが完成した。

委員 ・いろいろなバージョンを考えて、職員内で協議し、最終的にこの形になった。

・表面は、何を訴えているのか、よくわかることをポイントとした。

・写真は、ご家族にも了解をえて掲載している。

部会長 ・昨年度のチラシよりメッセージが非常にわかりやすくなった。

・昨年度のチラシ裏面は、地図による事業所所在地の提示をしたものだった。今年度、地図の形をアップデートするのは難しく、このような形になった。

事務局 ・裏面は、QRコードを交互に配置し、見やすい形とした。

部会長 ・参加事業所として、「ぼっとまむ」が新しく加わった。

事務局 ・「ライトホープ」は、今年度職員募集がないので抜けられたが、福祉職場の体験などでは協力

いただけるとのことで、相談があればつながりたい。

部会長 ・掲載希望の事業所の募集を続けたが、他にはなかった。

事務局 ・今回は求人がある事業所に絞った。

部会長 ・あさっての就職フェアで配布したかったので、チラシはすでに完成している。

みなさんには事後承諾となったが、了解いただきたい。

## 2 新任職員連続講座について

部会長 ・この講座は、基幹相談支援センターの事業になる。

事務局 ・資料「令和5年度 乙訓圏域新任職員連続講座チラシ」を参照しながら説明。

・参加者の交流会をどこかでもちたいと考えている。

・申し込み人数は、全体で21名。受講日別では、15日が17名、22日が16名、29日が19名。

・昨年度は録画していたが、今年度は対面のみとしたいがどうだろうか。

部会長 ・録画は技術的に難しい面もあるので、今年度は対面としたい。

・交流会の日や内容は、決まっているのだろうか。

事務局 ・15日は、自立支援協議会の活動についてグループで考える時間をとる予定である。

・22日は、講師からの希望もあり、確実に交流できる時間をとる。

部会長 ・参加者のテーブルを島にして、意見交換と質疑応答ができる形にしたい。

・参加者の顔ぶれは、3日間で変わるだろうか。児童の事業所からの参加者は多いだろうか。

事務局 ・しっかりと把握はできていないが、ポニーの学校からは何名かが参加する。

部会長 ・部会員の手伝いは必要だろうか。

事務局 ・準備等はこちらでできる。人材確保・育成部会が後援となっているので、最後の挨拶をお願いしたい。

部会長 ・当日まだ席に余裕があるようなので、部会員のみなさんも様子を見に行っていたいただければと思う。

## 3 就職ガイダンスについて

事務局 ・西山短期大学(以下、「西山短大」という。)では、10月18日12時50分から1コマ以上のお時間がいただけることになった。9月27日に詳細打ち合わせをする予定である。

・大阪保育専門学校では、担当の部長が長期不在ということで、話しが進んでいない。

・京都保育専門学校(以下、「京都保専」という。)では、9月1日11時半から13時に学内で就職フェアが実施される。その中の1ブースとして自立支援協議会が参加することになった。学生は任意参加で、50人ぐらいの来場が見込まれるそうだ。保育園、幼稚園、企業内保育園等、福祉関係がブース設置をし、一般企業の参加はないそうだ。当日、求人票を持参したいので、提出がまだの事業所は、データを事務局まで送信してほしい。

部会長 ・9月1日の京都保専の就職フェアには、私と事務局1名が参加する。1ブース内で今年度更新したチラシを使って体験などへ誘導したい。各事業所から、求人票とは別に、パンフレット等配

布できるだろうか。

- 事務局 ・スペースがわからないが、工夫して対応できるので、パンフレット等あれば持参したい。
- 部会長 ・学生に渡したい物があれば、明日午前中までに、事務局へデータ送信、あるいは持参願いたい。
- 委員 ・8月20日に福祉人材フェアが長岡京市中央公民館であったが、状況はどうだっただろうか。
- 委員 ・まだそこまで話ができていない。
- 委員 ・来場者が少なかった。
- 委員 ・長岡京市の広報や京都新聞にも掲載されていたが、この部会で話題にあがっていなかった。
- 部会長 ・長岡京市主催なので、それ以外の市町の事業所には声がかからず知らなかった。
- 委員 ・竹の里ホームや長岡京市社協のブースには人がたくさん来られていた。
- 委員 ・出展は、高齢と障がい者が半分ずつだった。
- 部会長 ・長岡京市主催だが、自立支援協議会で人材確保の部会をしているので、協力できる提案がいただけたらいいと思う。
- 委員 ・今回は、高齢介護課が主催で障がい者が参加させてもらっている形だったので、あまり動きを把握していなかった。
- 委員 ・私の事業所には、京都府社会福祉協議会（以下、「府社協」という。）からも開催の連絡があったので、府社協も知っていたと思う。
- 部会長 ・府社協の人材研修センターが、京都府全域の就職フェアとは別に、各圏域や市町単位のフェアも実施しているので、その一環なのかもしれない。次年度も長岡京市でこのようなイベントがあるなら、事務局に声をかけていただいて、周知ができるといいと思う。
- 委員 ・就職フェアをどの時期に実施すれば人が集まるのかわからないが、京都保専は学内実施なので、学生は来ると思う。しっかりPRしていきたい。
- 委員 ・西山短大では9月27日に打ち合わせだそうだが、内容はどこまで進められているのだろうか。
- 事務局 ・昨年度の京都保専での取組のように進めている。時間的には2コマ目も使ってもよいとお聞きしているので具体的に決めたいと思っている。
- 部会長 ・2コマ目は来場者が変わるということだろうか。
- 事務局 ・90分以上使ってもよいという意味合いである。
- 部会長 ・当日の流れは、企画の趣旨を伝えてから事業所の紹介、それからブースに分かれるイメージでいいだろうか。
- 委員 ・昨年当日、私は参加できなかった。ブースを回るのが、時間制で交代だったと思うが、自由に移動する方がいいのかどうか。
- 部会長 ・時間を区切って確実に回る方が、接点は増えると思う。
- 委員 ・学生は、まじめに話を聞いてくれたので、今年もそうなるといいと思っている。
- 委員 ・学生にとって、児童分野は、障害児養育を学習しているのでわかりやすいと思う。だが、生活介護や就Bなどは、事業所で何をしているのかわからないと思うので、はじめに軽く説明した方がいい。
- 部会長 ・西山短大には、保育専攻のみで、福祉関係はないのだろうか。保育系学生の一部は、社会福祉施設へ実習に行くので、知っている人もいるかもしれない。
- 委員 ・こども教育コースもあるようだ。昔は介護福祉士コースなどもあって、私の施設にも、30年

ぐらい前には西山短大出身の方がいた。

- 委員 ・ 昨年の参加学生の感想文で、「保育しか考えていなかったが、障がい分野にも興味がでた」とあったので、まずはそこをめざしたい。検討の余地が生まれ、やりがいがありそうだとおもってもらえる準備が必要だと思う。先日、初任者研修の講師に出向いた看護師が、参加者 17 名全員が、高齢を希望されたと言っていた。障がいは、ハードルが高く、選択肢に入りにくいようだ。一般の方がいなく障がいのイメージは、どんな感じなのか考えたい。
- 部会長 ・ 対象者の属性を考えて準備することは大切だ。障がいの人は、身近にいないのでわからないと思う。
- 委員 ・ 「人の役に立ちたい」という気持ちが根っこにある学生なので、障がい分野もその気持ちを満たせることを伝えたい。情報だけ伝えるのではなく、「やりがい」は引き込める要素だと思う。
- 部会長 ・ 違いを見せるだけではなく、共通の部分を話すと、障がいにも目が向くかもしれない。
- 委員 ・ 私も教員志望だったが、介護等体験で障がい者に接して、福祉の世界にも視野が広がり、切り替わった。条件だけではなく、やりがいの方がその後にも継続していけると思う。
- 部会長 ・ 社会福祉学部の学生が減り、その上、現場志向が少なくなっている。
- 副部会長 ・ 介護や福祉を今後商売としていく部分で、むしろ実践主義になっている。ロボットや AI なども入ってきている。他学部の学生の方が、現場をみたいと思っている。福祉分野には、根本的なセンスが必要なので、誰でもいいとはならないが、対象の視野を広げていきたい。そこに人材がうまっている。この部会は終了するが、最後に新しい視点に振ってあげたいと思う。
- 部会長 ・ 全然違う業界の人が、福祉を産業として、注目しているかもしれない。先進技術系だけではなく、いろんな産業を巻き込める業界だと思うので、うまく利用して人材確保を考えなければならぬ。福祉は福祉だけでと考えると成長しない。
- 委員 ・ 私の法人には特別養護法人ホームもあるが、職員のうち福祉系出身が 3 割である。7 割は他学部他学科で、福祉分野に触れるきっかけがあって興味をもったとのことだった。ただ、そのきっかけも高齢分野の方が多い。障害者施設は何をやっているかわからない。事業の説明は、必要だと思う。うまくできることがあれば、関心をもってもらえると思う。
- ・ 以前介護福祉士コースがあったつながりで、平安女学院へ採用活動に行っている。保育コースの中には、毎年障害児に興味をもつ子が必ずいるとの話をきいた。保育から障害児、障害者への興味につながるかもしれない。
- 事務局 ・ 去年は、障害者施設を理解する上で動画を見たのがよかったとの感想もあった。
- ・ 若い職員のざっくばらんな話を聞きたい、話しやすい人に話を聞きたいとの意見もあった。
- 部会長 ・ 保育系出身の若い職員がブースで話しができればと効果があがるかもしれない。
- ・ ブース出展はチラシに掲載されている事業所とする。
- 事務局 ・ 障がい福祉サービスについて簡単に説明する手段は、事務局で用意する。

#### 4 就職フェアについて

- 委員 ・ 1 月か 2 月に実施予定である。
- ・ 時間帯をずらそうかと考えている。昨年度は 1 時半から 3 時半だったが、平日日中には、中途

採用の方の参加があまり望めない。夕方にできないかとハローワークと調整中である。100名ぐらいは来場していただきたいが、もっと幅広く来場していただきたい。

・会場は、イオンかバンビオかのどちらかを考えているがまだ決まっていない。

部会長 ・時間帯について、部会としては夕方にしていただいても構わない。

・部会の参加方法としては、あさっての京都保専と同じ形になると思う。

## 5 人材育成に携わる職員の意見交換会について

部会長 ・資料「人材育成に携わる圏域法人職員の交流会（案）」を参照しながら説明。

・本日、実施日と場所を決めたい。

・実践発表を昨年参加された事業所の中からお願いしたい。昨年の交流会を経て、事業所で実践できたことなどを含めて話をしていただければと思う。昨年は3事業所だったが、2事業所の発表と意見交換でよいと思う。

事務局 ・事務局で、若竹苑と大山崎社会福祉協議会に、声をかけた。大山崎社協は昨年度の参加を踏まえてというよりも、ヘルパーを含めた全体研修の話になるかもしれないとのことだった。

部会長 ・行政からも福祉の人材育成に興味があれば、ぜひ参加していただきたい。

※調整の結果、11月21日（火）保健所講堂にて実施すると決定

## 6 その他

部会長 ・10月から最低賃金が京都府全域であがるが、みなさん対応はどうだろうか。

委員 ・毎年毎年大変だと思う。

部会長 ・働く方にとっては大事なことだと思うので、前向きに捉えて取り組めるといいと思う。困ったことがあったらまた共有したい。

事務局 ・人材確保・育成部会は今年度で終了し、今までの取組をどこかに引き継ぐことになっている。閉めることについてみなさんの意見をうかがいたい。

部会長 ・全体会等から何か意見がでているのだろうか。

事務局 ・他の部会でも人材不足で、事業ができないという意見が出ている。事務局として存続の議論をみなさんでしていただきたく思った。

委員 ・部会を担当してまだ浅いので、この場でお答えするのが難しい。部会の存続に関わらず、地域の課題として人材確保の問題はあると思う。もし終わるのであれば、どのような形でどこが担っていくのかを決めた上で終われるといい。

委員 ・私は、児童発達に関する仕事をしていたが、すぐに退職し現職となった。生活が成り立たなかったからである。前職では、中途採用の方も2、3か月で辞めている人が多かった。働く側には横の情報が全くなかったのも、もしこのような部会からいろんな情報が入っていたら続けられたかもしれない。個人的だが、地域に密着した部会があれば頼りになり、励みになると思う。

委員 ・自分自身が学生の時、福祉分野はあまり視野に入れていなかった。こういう部会によって周知機能が充実する。活動がどこかに移行できるかどうかだと思う。

- 委員 ・以前から、就職フェアなどに参加しても、他法人はどうだろうかと思っていた。この部会で情報共有できて大変ありがたかった。
- ・動画作成の方法など知り、いっしょに参加できたのがうれしく充実していた。
- ・部会は続くのだと思っていた。終わるとしても、人材確保は大きな課題なので情報交換の場などが、あればいいと思う。
- ・コロナ明け、少子化など状況は厳しい。「施設独自ではなく、地域で取り組む乙訓はおもしろいよ」という発信がとてもよかった。
- 委員 ・人材確保は、一法人の努力では、難しいという壁にあたっていた。グルーホームの365日運営など事業展開を考えた時、人材不足が1番の足かせとなっている。採用をがんばれと行政やご家族からきくが、八方ふさがりだった。圏域で取り組めたのはありがたかった。部会委員として、2年間でいろんな種をまくことができたという実感がある。この種を育てずに枯らしてしまうのは、もったいない。だが、誰かがとりまとめなくてはならないので、大変な部分もある。
- 委員 ・他法人の就職状況や工夫点など聞くことができ、貴重な体験だった。就職ガイダンスの機会をつくっていただいたのもうれしかった。どこかに引き継いでやっていただきたい。
- ・人材育成の情報交換も興味深く参考になった。形をかえて残していただきたい。
- 委員 ・人材確保はどこでも課題であるが、これほどまとまった取組をしている圏域は他では聞かず、大変意味のあることだった。
- ・自立支援協議会はいろいろな課題を話し合うところなので、立ちあがった取組が引き継がれ継続できるのであれば、この部会は役割を終えたと言える。
- 委員 ・いい取組だった。商工業者にとっても人材確保は課題となっている。商工会では人材を融通しあうという話も出ている。飲食業同志でアルバイトを繁盛期、閑散期に応じて配置するなど。
- ・乙訓内で情報共有、意見交換できることは大変意義がある。
- ・就職フェアの意義にも関わってくるが、地元で働いて、地元で生活をし、地元を活性化させる部分にも視点をおいている。働く人も意識すればいい機会になると思う。
- 副部会長 ・部会発足から3年間で、考えられる最大限でプログラムを打ち立てて実行してきたと自負している。もう少し人材が集まるようなところを視野に入れて発足したが、これができるすべてだった。成果物として評価し、然るべきところで継続していただければいいと思う。
- ・先を見越しての取組なので、これがそぐわなくなったということが、来年にやってくることはないと思う。今回、発展解消ということでいいと思う。
- ・自立支援協議会の考え方として、我々がこれをいつまでも持ち続けること自体どうなのか。もっと力を注がなければならない課題は他にあるはずなので、そちらに力を注ぐのは当たり前のことだ。人材確保に関して、新たな課題があがってくれば、また協議したい。
- 事務局 ・決定事項として閉めることを伝えていたので、閉めるにあたってその理由を部会の中で議論していただきたかった。
- 部会長 ・どこかで区切りはつけなくてはならなくて、このまま続けていても同じことをこなす部会になってしまう。最初の期待ほどの効果は上がっていないかもしれないが、これだけ形にできて、今後基幹相談支援センターに引き継いでもらい、終わりの目途をつけたい。
- ・このチームができたのは、とてもよかった。また何かあれば、声をかけあったり集まったりは

続けていきたい。

事務局 ・事務局としてすべての部会に出ている、それぞれの課題について、どこで話し合うべきか考えている。強度行動障害も、以前からの課題となっている。これ以上部会を増やすことは難しいので、優先順位をつけなければと悩んでいる。

・自立支援協議会の運営委員会に、今後どうしていくのかを報告し、方向性を決めたい。

次回 10月30日(月) 10:00 乙訓福祉施設事務組合 会議室